

雄国沼山行報告

【山行日】 2025年 7月 2(水) 晴れ後雨

【集 合】 栃木市運動公園P AM 5:00

【費 用】 マイカー1台 : 6,200円

【メンバー】 CL:鈴木、大塚、石澤、渡邊

【コースタイム】栃木市運動公園P5:00=ラビスパ裏磐梯P7:40/8:00~雄国山9:20/9:40~休憩舎10:05/10:15~雄国沼10:30/11:30~休憩舎11:50/12:05~雄子沢分岐12:20~雄子沢バス停13:10/13:40=ラビスパ裏磐梯P13:50/13:55=雄子沢バス停14:10=栃木市運動公園P16:30

雄国沼のニッコウキスゲを見たいとリクエストがあり、萩平から金沢峠のシャトルバスを調べた所、今年は雪が多く道路が崩落してバスは運行しないとの事だった。代わりにラビスパ裏磐梯から雄子沢登山口までシャトルバスを運行するので、ラビスパ裏磐梯から雄国山を越えて行くコースを計画



した。平日山行なので参加者が少なく、4名で栃木市運動公園を出発する。東北道から磐越道を進み猪苗代磐梯高原 IC で降り、国道115号線から国道459号線を通してラビスパ裏磐梯の駐車場に着く。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。ここからシャトルバスに乗って雄子沢登山口から登る人が多いが、我々は雄国パノラマ探勝コースを通して雄国沼に向かう。

駐車場からラビスパ東口に向かい、オートキャンプ場の先から登山道に入る。自然林の中を緩やかに登ると、ラビスパ西口からのコースと合流する。さらに尾根道を進むと1102mのピークに着き、休憩して衣服調整と水分補給を行う。ここからも歩き易い道を下るが、時々藪の中の細い道に行く。

鞍部まで下り急坂を登り返すと1271.2mの雄国山山頂に出る。ここからの展望は素晴らしく、吾妻連峰や磐梯山や檜原湖が望める。ゆっくり休憩を取ってリンゴや菓子をいただき、展望を楽しみながらカメラに収める。ここからの下りは雄国沼を見ながら下れ、素晴らしい展望に皆さんの足取りも軽くなる。尾根から左に下ると雄子沢登山口からのコースと合わさり、小さな沢を渡ると雄国沼休憩舎に着く。休憩舎は広くトイレもあるので休憩し、窓際のベンチに腰かけて足を休める。ここからは

金沢峠に向かって緩やかに登って行き、途中の分岐を左に下って行く。雄国沼を見ながら下り、湿原入口から雄国沼への木道が続いて行く。木道の両側にニッコウキスゲの花が群生し、黄色の絨毯を敷いたように沼畔を埋め尽くす。萩平から金沢峠までのシャトルバスが無いので登山者しか来られず、ゆっくり鑑賞が出来写真も気兼ねなく撮り放題。本来は木道で1周出来るようになっていたが、木道が壊れた箇所があり奥のベンチから戻らなければならない。



見渡す限り咲くニッコウキスゲを味わいながら歩き、奥のベンチで休憩しランチタイムとする。
一面埋め尽くすニッコウキスゲを見ながら食べるランチは美味しく、皆さん笑顔で食べていた。



デザートはキーウィフルーツやジャージー牛のプリンをいただいたら来た道に戻る。休憩舎まで戻ってトイレを済ませ、皆さんは雄子沢登山口へ向かい、我輩は来た道に戻って車を回収し雄子沢登山口に向かうことで出発した。ところが雄子沢登山口への分岐に着くと、ドーンと大きな雷鳴が鳴り響く。空を見上げると黒い雲に覆われてきた。これは雨が降ると判断し、全員で雄子沢登山口に急ぐことにする。

こちらのコースは雄国沼せせらぎ探勝路として良く

整備され、ほとんど下りなので軽快に下って行く。
雄子沢川沿いの探勝路を快調に下り、1時間弱で雄子沢登山口駐車場に着く。シャトルバス乗場のテントに入ると雨が降り出し、我輩もこちらに下って大正解であった。ここから我輩だけシャトルバスに乗ってラビスパ裏磐梯まで行き、車を回収したら雄子沢登山口へ皆さんを迎えに行く。雄子沢登山口駐車場手間で皆さんに会い、車に乗せて事情を聴くとシャトルバスに乗らない人は駐車場のテントに居づらい雰囲気とのこと。裏磐梯高原の物産館で靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。猪苗代磐梯高原 IC から磐越道に入り、東北道の那須高原 SA でお土産を買い予定より早く帰着した。

